

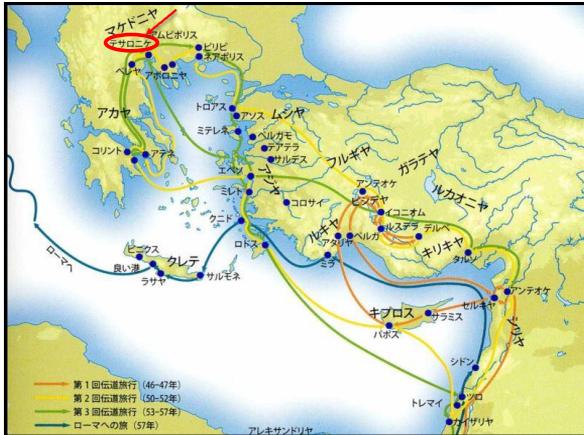
「クリスチャンになると 何が変わる?」

テサロニケ人への手紙第一 1章1~3節

1

パウロ、シルワノ、テモテから、父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。恵みと平安があなたがたにありますように。私たちは、あなたがたのことを覚えて祈るとき、あなたがたすべてについて、いつも神に感謝しています。私たちの父である神の御前に、あなたがたの信仰から出た働きと、愛から生まれた労苦、私たちの主イエス・キリストに対する望みに支えられた忍耐を、絶えず思い起こしているからです。 1テサロニケ1:1-3

2



3

関係と環境が変わった

- パウロは当時の手紙の様式を福音化させた。
- 差出人と受取人
- パウロ、シルワノ、テモテから
- 神のみこころによるキリスト・イエスの使徒パウロと、兄弟テモテから、 コロサイ1:1
- 人々から出たのではなく、人間を通してでもなく、イエス・キリストと、キリストを死者の中からよみがえらせた父なる神によって、使徒とされたパウロと、 ガラテヤ1:1

4

関係と環境が変わった

- 父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ
- 教会=集会、会衆、アセンブリー(オブゴッド)
- 人々は、それぞれ違ったことを叫んでいた。実際、**集会**は混乱状態で、大多数の人たちは、何のために集まったのかさえ知らなかった。(エペソでの暴動) 使徒19:32
- 福音によって召された人々の集まり
- 旧約なら「神の民」

5

関係と環境が変わった

- イエス・キリストによって示された神、成し遂げられた救い=回復した関係
- どうか、**私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父**が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように エペソ1:17
- 環境問題? 神への感謝がない。エコよりエゴ欲やプライドが破滅をもたらす。

6

平安はどこから

ですから、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人にとえることができます。雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家を襲っても、家は倒れませんでした。岩の上に土台が据えられていたからです。また、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人にとえることができます。雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもその倒れ方はひどいものでした。 マタイ7:24-27

7

平安はどこから

すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。

マタイ11:28-30

8

人生の動機(目的)を原動力も

- 信仰の働き、愛の労苦、希望の忍耐
- 信じるだけでいい、愛が大事だから、フィーリングの合う人だけと付き合う、死んだら天国だから、適当に生きればいい。
- 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがないなら、何の役に立つのでしょうか。そのような信仰がその人を救うことができるのでしょうか。ヤコブ2:14

9

人生の動機(目的)を原動力も

- 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず不正を喜ばずに、真理を喜びます。すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍びます。
- 愛は感情(フィーリング)にコントロールされない。神の恵みによってコントロールする。

10

人生の動機(目的)を原動力も

- このキリストによって私たちは、信仰によって、今立っているこの恵みに導き入れられました。そして、神の栄光にあずかる望みを喜んでいますが、それだけではなく、苦難さえも喜んでいきます。それは、苦難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。ローマ5:2-5
- こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。1コリント13:13

11

人生の動機(目的)を原動力も

- マイク・タイソンの言葉「最強の敵は、自分」失敗は、自分の周りに「イエスマン」だけ置いた。「イエスのマン(人)」となるべき。
- 私はキリストとともに十字架につけられましたもはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているいのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。ガラテヤ2:20 (最強の男の言葉)

12